

大学の授業を公開します。学生と一緒に受講しませんか！

公開授業「環境問題」

講師 山口県立大学 国際文化学部 安溪遊地 他5名

「環境問題は専門家にまかせておくしかない地球レベルの問題だ」という”常識”を根本から問い直し、身近な環境問題を足元から解決するための知恵と経験に学びます。身の回りで何か問題が起こったら、と想像できる感性を育て、みずからの暮らしを守るために行動に移す勇気を培います。戦争こそが最大の環境破壊です。足もとからの環境と平和をつくることを目標のひとつとして、現場の声に耳を傾けます。マスコミには載らない情報に触れることで、さまざまなマインドコントロールを越えて、自分の生活そのものを再点検しながら深く考え、足下から暮らしと環境を変えていくきっかけをつかむ生活者を育てます。

◎日 時 平成21年4月10日（金）～平成21年7月17日（金）
10:20～11:50

◎場 所 山口県立大学6号館 F204教室（裏面地図参照）

◎受講料 1回500円 10回以上5000円



プログラム

| 回 | 月 日 | | 授業項目 |
|---|--------------|---|---|
| 1 | 4月10日 （金） | 出過ぎる杭は打たれない— この講義の進め方 | 環境問題といわれるもののほとんどは人権問題です。安心して暮らせる平和な地域を守るための身近な地球人たちの痛快なチャレンジを紹介します。 |
| 2 | 4月17日 （金） | マスメディアの限界を知る— ドキュメンタリー映画作家 西山正啓さんに学ぶ | なぜマスメディアは真実を語れないのか。長年のドキュメンタリー制作の現場から見える風景を、自作のよりすぐりの作品通して紹介していただく。 |
| 3 | 4月24日 （金） | 消えた鎮守の森で—生活者 としてできることを求める 福田雅美さんの声 | 静かな住宅地で、鎮守の森の山をまるごと削る大規模工事。埃と振動に苦しむ年月のあと、そこに米軍の住宅がくると知った時、岩国の住民たちは動き始めた。 |
| 4 | 5月1日 （金） | グローバルからローカルへ— 半農半Xの楽しみを生きる 大下充億さん | 第三世界での援助の現場で自然の循環の中でいきる人々に出会い、山口の地で自給的な暮らしをしながら、本物をお菓子を売るという仕事に取り組んでいる人の物語。 |
| 5 | 5月8日 （金） | 山で暮らして海とつながる— 車椅子林業家白松博之さん の活躍 | 障害をもったからこそ見えてきた世界と自然の循環にそった暮らしを求める「あつたか村」そこでのさまざまな取り組み。 |
| 6 | 5月22日 （金） | スローな暮らし・スローな食 べ物・スローな観光をめざす 白松さんの取り組み | いなかには都市が忘れてしまった大切なものがある。それを見つけにきて、その知恵をみにつけよう。 |

（裏面に続く）

| | | | |
|----|--------------|---|--|
| 7 | 5月29日 (金) | 環境問題に取り組む人々を 西山正啓監督のドキュメン タリーで学ぶ | 西山監督に環境関連のドキュメンタリーをみせていた だき、ともに考える |
| 8 | 6月5日 (金) | スペイン・ナバラの農家民宿 と自然エネルギー | 山口県と姉妹提携しているスペインのナバラ州では、グ リーン・エネルギーとグリーン・ツーリズムの取り組み が盛んで、元気がもらえる。 |
| 9 | 6月12日 (金) | 世界の森を守る人々との交 流 | どのような困難の中でも、希望を失わず自然との共存に 生きる人々の生き様に学ぶ。 |
| 10 | 6月19日 (金) | 瀬戸内海がよみがえる日 | 瀬戸内海最高の海と原発予定地の自然が破壊されてい く現状の報告。長島の自然のこれまでの取り組みをとこ れからについて。 |
| 11 | 6月26日 (金) | 大規模開発につける薬はあるか—安溪遊地担当 | 日本生態学会で3度「大規模開発につける薬」というシ ンポジウムを主催した。良薬は口に苦し。しかし、薬が なければわれわれの暮らしが減じるのである |
| 12 | 7月3日 (金) | 安心安全の暮らしのために (1)—安溪遊地担当 | それはほんとうに安心して食べられるものか、例えば 10 週間も腐らないポテトチップス。例えば半年もかび ないレモン。例えば……。食べ物から暮らしを見直すた めの提案。 |
| 13 | 7月10日 (金) | 安心安全の暮らしのために (2)—安溪遊地担当 | いま何が一番危機なのか。いま何をしなければならない のか。 |
| 14 | 7月17日 (金) | いま足下からできること— 小さな森に県産材で建てた 価格破壊住宅で | 安溪遊地担当。県産材の産直で建てた価格破壊の自然住 宅づくりと「第三種兼業農家」としての四季の暮らし。 そして、そこに突然起こったごみ処分場騒動の顛末。 |

- 受講方法** 全講座の受講者には山口県立大学公開授業受講修了証書をさしあげます。1日だけの部分受講もできます。必ず事前に申し込みをお願いします。

●**申し込み**

- 1) 申込先 〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1
山口県立大学附属地域共生センター生涯学習部門
TEL/FAX 083-928-3495

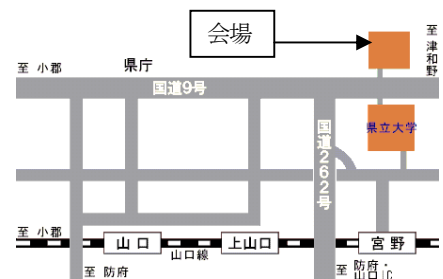
- 2) 方法 上記申し込み先まで、氏名・住所・郵便番号・電話番号をお知らせください。(はがき、電話、FAXでも可)

- 3) 締切 平成21年5月15日(金)

- 4) 受講通知 講座開始前に各自へお知らせします。

♪♪この講座に関するお問い合わせは

山口県立大学附属地域共生センター 生涯学習部門
TEL/ FAX 083-928-3495



会場：6号館
F204 教室

